

平成28年度行政事業レビューシート(厚生労働省)

事業名	医療指導監査官の活動に要する経費			担当部局庁	保険局			作成責任者		
事業開始年度	昭和54年度	事業終了(予定)年度	終了予定なし	担当課室	医療課医療指導監査室			平子 哲夫		
会計区分	一般会計									
根拠法令(具体的な条項も記載)	-			関係する計画、通知等	-					
主要政策・施策	-			主要経費	社会保障					
事業の目的(目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	保険医療機関等に対して医療指導監査官による指導監査等の実施に係る旅費及び指導監査等に関する必要なマニュアル作成及び配布等を行うことで、保険診療の適正化を図る。									
事業概要(5行程度以内。別添可)	医療指導監査官の指導監査等に係る旅費、医療指導監査部門の職員が使用するマニュアル作成経費等。									
実施方法	直接実施									
予算額・執行額(単位:百万円)			25年度	26年度	27年度	28年度	29年度要求			
	予算の状況	当初予算	22	22	22	22	22			
		補正予算	-	-	-	-	-			
		前年度から繰越し	-	-	-	-	-			
		翌年度へ繰越し	-	-	-	-	-			
		予備費等	-	-	-	-	-			
	計		22	22	22	22	22			
執行額		18	18	19	-					
執行率(%)		82%	82%	86%	-					
成果目標及び成果実績(アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標			単位	25年度	26年度	27年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 - 年度
				成果実績	-	-	-	-	-	-
				目標値	-	-	-	-	-	-
				達成度	%	-	-	-	-	-
定量的な成果目標の設定が困難な場合	定量的な目標が設定できない理由及び定性的な成果目標	定量的な目標が設定できない理由			定性的な成果目標と25~27年度の達成状況・実績					
	事業の妥当性を検証するための代替的な達成目標及び実績	代替目標	代替指標		単位	25年度	26年度	27年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 28 年度
活動指標及び活動実績(アウトプット)	活動指標				単位	25年度	26年度	27年度	28年度活動見込	
	実施要領の作成状況			活動実績	部	900	-	950	950	
				当初見込み	部	955	-	950	950	
単位当たりコスト	算出根拠				単位	25年度	26年度	27年度	28年度活動見込	
	単位当たりコスト=X/Y X=実施要領の印刷製本等費用 Y=実施要領の印刷部数			単位当たりコスト	円	1,552	-	1,728	-	
				計算式	X/Y	1,474,305/950	-	1,641,600/950	3,206,000/950	

平成28・29年度予算内訳 (単位:百万円)	歳出予算目	28年度当初予算	29年度要求	主な増減理由
	医療給付等調査旅費	18	18	
	医療給付適正化業務庁費	4	4	
	計	22	22	

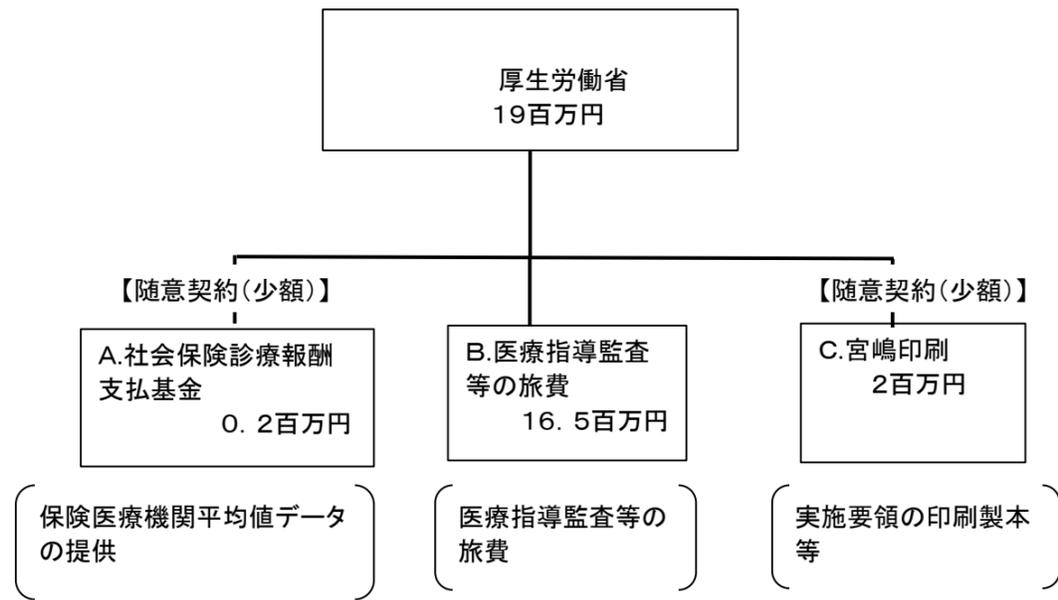
政策評価、経済・財政再生アクション・プログラムとの関係	政策	政策大目標9 全国民に必要な医療を保障できる安定的・効率的な医療保険制度を構築すること							
	施策	施策目標 I-9-1 適正かつ安定的・効率的な医療保険制度を構築すること							
	測定指標	定量的指標		単位	25年度	26年度	27年度	中間目標 - 年度	目標年度 - 年度
			実績値	-	-	-	-	-	-
			目標値	-	-	-	-	-	-
	本事業の成果と上位施策・測定指標との関係								
	<p>・全国統一の実施要領を作成することは、指導監査業務の標準化・統一化に資すること等から、国が実施すべき事業であるため、全国統一の実施要領を作成し、地方厚生(支)局へ配布する。</p> <p>・保険診療の質的向上及び適正化のため、全国統一の実施要領を作成し、指導監査等の標準化・統一化を行い、さらなる指導・監査の充実を図ることができる。</p>								
	改革項目	分野:	社会保障	⑳(v)不適切な給付の防止の在り方について検討 等					
	(第一階層) KPI	KPI (第一階層)		単位	計画開始時 - 年度	27年度	28年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 - 年度
			成果実績	-	-	-	-	-	-
		目標値	-	-	-	-	-	-	
		達成度	%	-	-	-	-	-	
(第二階層) KPI	KPI (第二階層)		単位	計画開始時 - 年度	27年度	28年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 - 年度	
		成果実績	-	-	-	-	-	-	
		目標値	-	-	-	-	-	-	
		達成度	%	-	-	-	-	-	
本事業の成果と改革項目・KPIとの関係									
当該事業により、保険医療機関等に対して医療指導監査官による指導監査等の実施に係る旅費及び指導監査等に関する必要なマニュアル作成及び配布等を行うことで、保険診療の適正化が見込める。									

事業所管部局による点検・改善

	項目	評価	評価に関する説明
国費投入の必要	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。	○	保険診療の質的向上及び適正化等が期待できることから、国民からの要請が高い事業である。
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○	保険診療の質的向上及び適正化等に資する事業であることから、地域による偏りが生じることは望ましくなく、全国で統一に行うべき事業である。
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。	○	保険診療の質的向上及び適正化等に資する、優先度の高い事業である。
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	○	業者選定をできる事業については見積もりを取り寄せて、最も少額で適正な支出をしている。
	一般競争入札、総合評価入札又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。	無	
	競争性のない随意契約となったものはないか。	無	
	受益者との負担関係は妥当であるか。	-	-
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。	○	業者選定をできる事業については見積もりを取り寄せて、最も少額で適正な支出をしている。
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	-	-
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○	事業目的のみの用途となっており、必要なものに限定している。
不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	○	内容の精査によりマニュアルのページ数が減少したため。	
その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。	○	必要最低限のコストで実施しており、コスト削減の工夫は行われている。	

事業の有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。		-	-		
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		-	-		
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		○	活動実績は概ね見込みとおりとなっている。		
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		-	-		
関連事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。 (役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		-			
	所管府省・部局名	事業番号	事業名			
点検・改善結果	点検結果	平成27年度における必要経費については、ほぼ例年通り。				
	改善の方向性	引き続き妥当な水準の執行に努めるとともに、必要に応じて見直しを行うこととしている。				
外部有識者の所見						
点検対象外						
行政事業レビュー推進チームの所見						
現状通り	引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。					
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
現状通り	-					
備考						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
平成22年度	273	平成23年度	244	平成24年度	210	
平成25年度	243	平成26年度	255	平成27年度	265	

※平成27年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。



資金の流れ
(資金の受け取り先が何を
行っているかについて補
足する)
(単位:百万円)

